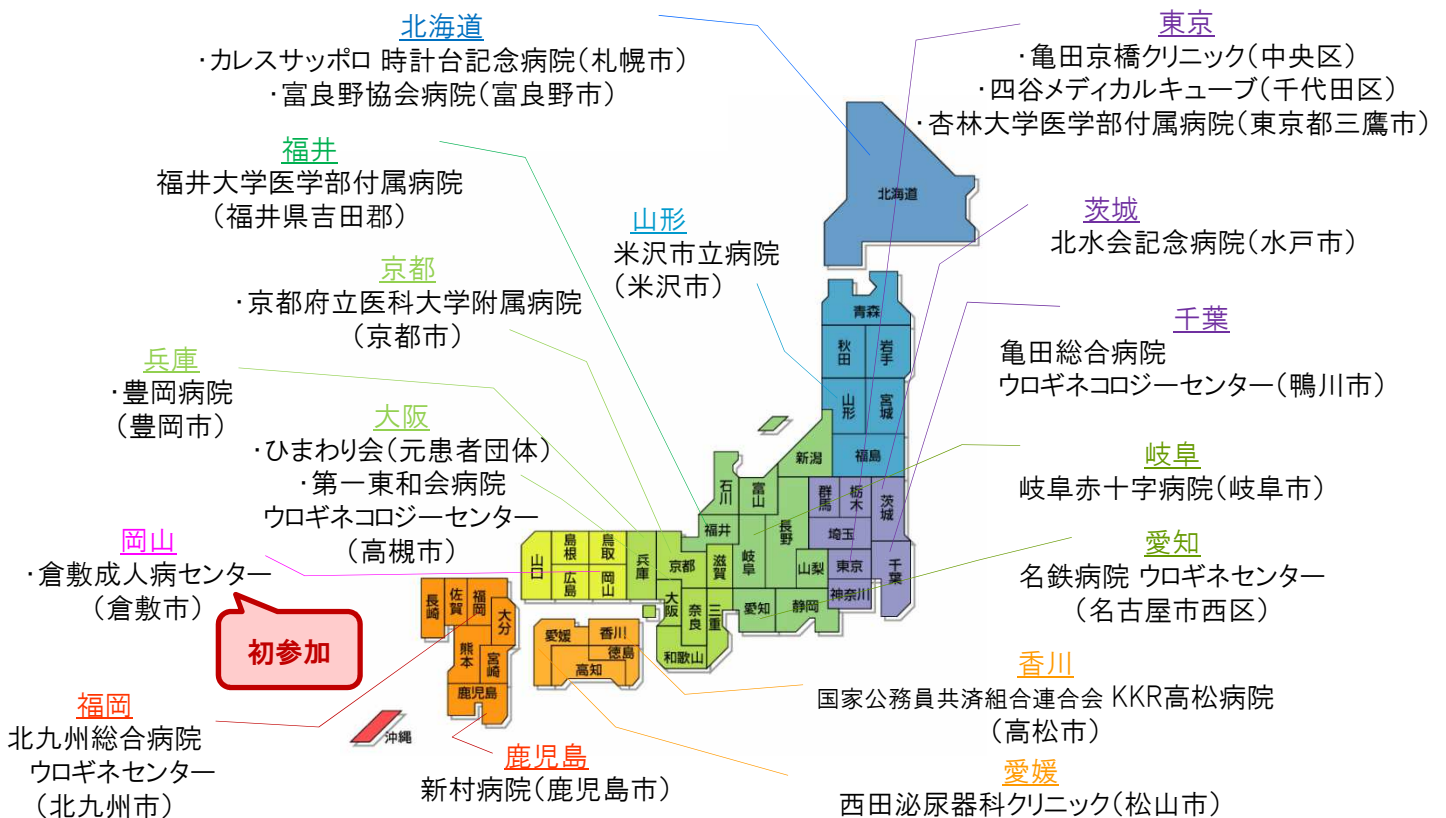


9月9日は「骨盤臓器脱克服の日」
ひまわり会主催 <第36回 骨盤臓器脱 無料電話相談キャンペーン>
2018年9月3日 月曜日より 16都道府県20か所にて

いつもひまわり会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。
 前回(6月)開催いたしました無料電話相談では、ひまわり会83件、第一東和会病院(大阪・高槻)90件超、杏林大学医学部附属病院(東京・三鷹)39件などたくさんのご相談をお受けいたしました。
 今回は、9月9日「骨盤臓器脱 克服の日」を記念し、16都道府県20か所において、9月3日(月)より無料電話相談キャンペーンを開催いたします。**今回から岡山県倉敷市の倉敷成人病センターが加わります。**
 今回もぜひ告知にご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。
 詳細は、ホームページでもご紹介しています。ご参照ください。 <http://urogyne-himawari.jp/>

<第36回 骨盤臓器脱 無料電話相談キャンペーン ネットワーク>



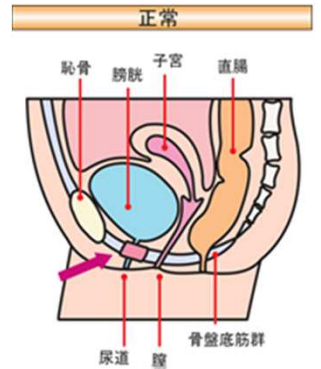
地域	団体・施設名	開催日・時間	連絡先	相談者
	ひまわり会	9/3(月)~6(木) 13:30~16:00	090-7493-2200 090-7340-2200	ひまわり会メンバー
大阪	第一東和会病院 ウロギネコロジーセンター	9/3(月)~7(金) 13:00~16:00	072-671-1008(代表) ※ウロギネ電話相談と お伝えください。	竹山政美医師 加藤稚佳子医師 鎌田知子医師 柏原宏美医師
初参加				
岡山	倉敷成人病センター	9/3(月)~7(金) 13:00~15:00	086-422-2111(代表) ※電話相談とお伝えください。	安東栄一医師 高本均医師 女性泌尿器科担当看護師
京都	京都府立医科大学 附属病院 泌尿器科	9/4(火)、5(水) 10:00~12:00	075-251-5596	女性泌尿器科担当医 師

地域	団体・施設名	開催日・時間	連絡先	相談者
北海道	カレスサッポロ 時計台記念病院 女性総合診療センター	9/4(火)、6(木) 13:00~15:00	011-251-1363	4日 藤井美穂医師 6日 大科宣子看護師 (コンチネンスアドバイザー)
	富良野協会病院 泌尿器科	9/3(月)、5(水) 17:30~19:30	0167-23-2181(代表) ※電話相談と お伝えください	沼田篤医師
山形	米沢市立病院 泌尿器科	9/5(水)、6(木) 15:00~17:00	070-6618-2451	長岡明医師
東京	亀田京橋クリニック	9/6、13、20 全て(木) 15:00~17:00	03-3527-9376(直通)	岡田義之医師
	四谷メディカルキューブ	9/7(金) 14:00~16:00	03-3261-0405	嘉村康邦医師 女性泌尿器科担当ナース
	杏林大学医学部付属病院 泌尿器科女性骨盤底専門外来	9/3(月)、4(火) 15:00~17:00	0422-47-5511(代表) ※電話相談と お伝えください。	金城真実医師 皮膚排泄ケア認定 丹波看護師
茨城	北水会記念病院 泌尿器科	9/4(火)~6(木) 16:00~18:00	029-303-3003(代表) ※電話相談と お伝えください。	佐藤広高医師
千葉	亀田総合病院 ウロギネコロジーセンター	9/3(月)~7(金) 12:00~14:00	04-7099-2344(直通)	野村昌良医師 他
愛知	名鉄病院 ウロギネセンター	9/3(月)、4(火) 13:30~17:00 6(木) 16:00~17:00	052-551-6121(代表) ※電話相談と お伝えください。	皮膚排泄ケア認定 市川美代子看護師 骨盤底筋訓練専門 渡邊日香里理学療法士
岐阜	岐阜赤十字病院 ウロギネセンター	9/5(水)~7(木) 14:00~16:00	058-294-7511	三輪好生医師 西垣亜衣子看護師
福井	福井大学医学部 付属病院泌尿器科	9/6(木)、7(金) 14:00~16:00	0776-61-8399	福島正人医師、関雅也医師、 堤内真実医師
兵庫	豊岡病院 泌尿器科	9/4(火) 13:00~16:00	0796-22-6111	酒谷徹医師 外来担当看護師
愛媛	西田泌尿器科 クリニック	9/4(火)~6(水) 14:00~16:00	089-961-1104	西田智保院長
香川	KKR高松病院 女性泌尿器科	9/3(月)~7(金) 14:00~17:00	087-861-3261(代表) ※電話相談と お伝えください。	女性泌尿器科担当ナース
福岡	北九州総合病院 ウロギネセンター	9/18(火)~20(木) 13:00~15:00	093-922-5037(直通)	野村昌良医師
鹿児島	新村病院	9/3(月)~7(金) 14:00~16:30	099-256-6200(代表)	女性泌尿器担当者

子宮や膀胱が下がる病気を御存知ですか？ それは・・・「骨盤臓器脱」という病気です

本来、女性の骨盤は骨盤底筋と呼ばれる筋肉によって常に支えられています。しかし出産・閉経・加齢により、骨盤内臓器を支持している骨盤底筋群が徐々に弛緩し、支えを失った膀胱や子宮、直腸が腔から突出することがあります。これらを総称して「**骨盤臓器脱(こつばんぞうきだつ)**」と呼ばれております。

膀胱が腔より突出した場合を「膀胱瘤」、子宮が腔より突出した場合を「子宮脱」、直腸が腔より突出した場合を「直腸瘤」とよびます。自覚症状は、初期には腔からピンポン玉のようなものが出ると訴えられる方が多いのですが、それが徐々に大きくなってきて、出血や排尿困難、排便困難といった症状を伴うようになってきます。なかにはおしっこが全く出なくなって腎不全になって受診される方もおられます。



こうした骨盤臓器脱に悩まれる患者様は大変多く、アメリカ人女性では10人に1人が一生のうちに1回は骨盤臓器脱で手術を受けるといわれております。また、スウェーデンにおける骨盤臓器脱調査によると、20歳から59歳までの女性のうち、出産経験者の44%が骨盤臓器脱の症状を持っていると報告されています*。
*Am J Obstet Gynecol 180, 1990

■骨盤内臓器脱に対する治療方法について

これまで行われてきた治療は「子宮を摘出し、腔壁を縫い縮める手術」が主流となっておりました。しかし子宮を摘出した場合、本来の組織を損傷するために膀胱や直腸がより下がるようになるとともに、尿失禁(おしっこが漏れる)の出現頻度が増加するという欠点があります。また弱くなった組織を縫い縮めたり、切除したりする方法は簡単ではありますが、約3～4割の方が再発するという欠点がありました。しかしその方法以外に有効な方法がありませんでした。

そこで子宮を摘除することなく、より再発率を抑える目的で登場した方法がTension-free vaginal mesh (TVM)手術です。2005年に竹山政美医師が国内で初めてTVM手術を開始し、現在までに全国で数万件の手術が行われるまでに至りました。TVM手術は弱った腔壁の代わりにポリプロピレン製のメッシュを用いて弱った支持組織を置き換えます。この方法により子宮を摘除せずに再発を抑えるのみならず、過去に子宮を摘出された方でも治療ができるようになりました。

骨盤臓器脱に対する新しい手術 LSC手術

腹腔鏡下仙骨腔固定術(Laparoscopic Sacral Colpopexy, LSC)は腹腔鏡下に骨盤臓器脱を治療する方法です。欧米では骨盤臓器脱の治療のゴールドスタンダードとして以前から行われてきた術式ですが、国内では先進医療として限られた施設でしか手術を受けることができませんでした。昨年4月からは健康保険の適応となり、届け出をした施設では保険診療としてこの手術が行うことができるようになったことから国内でも主流の手術方式となりつつあります。

※骨盤臓器脱(子宮脱)の最新の情報は右記をご参照ください。 <http://gogourogyne.net/>

□ひまわり会とは・・・

ひまわり会は、尿もれを克服した元患者が中心となり平成16(2004)年9月18日に発足いたしました。大阪を拠点とし、市民公開セミナーの開催や第一東和会病院女性泌尿器科における外来ボランティア、定期的な電話相談を通して自分たちの体験を生かし、元患者として現在尿もれや骨盤臓器脱で悩んでいる女性の相談相手となるサポートを実施しています。 <http://urogyne-himawari.jp/>

<9月9日は骨盤臓器脱克服の日、2月20日は尿もれ克服の日：日本記念日協会認定>

ひまわり会が、尿もれ・骨盤臓器脱に関する認識を高めてもらうことを目的に制定しました。骨盤臓器脱克服の日(9/9)は、骨盤臓器脱の英語表記が「Pelvic Organ Prolapse」で、その頭文字からPOPと略されPOPと909の形が似ていることから決定しました。そして、尿もれ克服の日(2/20)は、2と20で「尿(2)も(too=2)れ(0)」と読む語呂合わせで設定いたしました